



## 沖縄授業研究会報告

今の夏、沖縄の公立の小学生を対象にした「創造性を育てる授業研究会」を行ないました。実施に当たってはいろいろな困難もありましたが、思わぬ方々の温かい手が差しのべられたりして、実に感動的な研究会でした。授業は無学年生でしたが、全員黙々とよく集中して取り組んでくれました。また、午後の先生方との研修会では、童心にかえってパズルを作ったり楽しく学び合った一日でした。クドクド私が書くよりも、沖縄タイムスの記者はさすがプロです。あっち行ったり、こっち行ったりの会を、うまくまとめてくれています。横書き、縦書きで読みにくいかもしれませんが、その全文を掲載し研究会の報告とします。(文責 和田)

タイムス

2010年(平成22年)8月20日 金曜日

教育 26



工作で創造性を育てる授業の研究会で、金づちの使い方を教える和田秀巳所長(右)＝18日、開南小学校

那覇市立開南小学校で18日、工作で子どもたちの創造性をはぐくむ知能教育の授業研究会があった。知能工作研究所(神奈川県)の和田秀巳所長が公開授業で、くぎを打ったベニヤ板の上でビー玉を転がす「コリントゲーム」を使い、連想問題に答えて遊ぶ教材を紹介。教師の研修会では「授業をマニュアル化せず、まず教師が創造性を持つことが大切」と呼び掛けた。

### 那覇で授業研究会

# 工作で創造性育成 集中力高める教材楽しさ大切

研究会は、りか・工作研究教室(那覇市)の前里裕有子主宰の呼び掛けで、那覇市内の保育士や小学校教師ら約30人が参加。公開授業では、開南小学校の児童30人余りが、

金づちやドライバー、はさみ、のりを使って、コリント盤作りに挑戦した。コリント盤は、ビー玉が入る場所ごとに、連想問題の書かれたカードが入っており、ビー玉が入る度に答え合せて遊ぶ仕組み。問題は「砂糖と塩の似ている所」「る」のつく言葉」「雨が多いいいこと」「答えが10になる式」など。「概念を拡散思考する」のが狙いという。和田所長は「指や手、道具を使うことによって、座ったまま机に向き合える集中力と意欲が高まる」とし、「勉強は楽しいと思わせることが大切で、やらされているといつまでたってもつまらない」と指摘。「創造性は子どもを自由にすれば育つものではなく、基礎には必ず『考える力』が必要になる」と強調し、「子どもをほめることは大切だが、おだてることは違う。教師の見方によって、子どもは変わる」と呼び掛けた。

**大人の知能トレーニング** は、今回コマーシャルのため、お休みです。次回をお楽しみに！！

### ※授業研究会のお知らせ

日時： 2010年11月29日(月) 10:00～11:30

会場： 早良幼稚園(城南幼稚園姉妹園)

園長 小林 裕子 先生

福岡市早良区野芥8-33-23 Tel 092-804-5252

公開保育：10:30～11:30 年中児クラス67名

教材名「8枚の板遊び」

指導 知能工作研究所 和田秀巳

授業見学ご希望の方は、知能工作研究所までお問い合わせください。

Tel 046-277-5654 FAX046-277-5657

2歳児用教材・課外小学生用教材も一部展示されます。

### ※教材についてのお知らせ

1. 2歳児教材7教材の販売を開始。1部840円(送別)
2. 小学生用(1年・2年・3年)も完成。代引き発送も可能。8時間分入って1部4500円(工作入り)